

浦西和彦教授著述目録

一九六六年（昭和四十一年）

葉山嘉樹著作文献目録〔友樹〕十月十八日、第三十八号、四五—五八頁）

葉山嘉樹参考文献目録〔友樹〕十月十八日、第三十八号、五八—六七頁）

葉山嘉樹年譜（未定稿）（一）〔友樹〕十月十八日、第三十八号、六八—七五頁）

一九六七年（昭和四十二年）

葉山嘉樹年譜（未定稿）（二）〔友樹〕三月一日、第三十九号、四五—五八頁）

葉山嘉樹著作文献補遺（一）〔友樹〕三月一日、第三十九号、八八—八九頁）

葉山嘉樹参考文献補遺（二）〔友樹〕三月一日、第三十九号、

九〇—九一頁）

一九六八年（昭和四十三年）

葉山嘉樹と名古屋労働者協会―資料紹介―「街路に立ちて」〔神戸労働争議エピソード〕―〔関西大学「国文学」三月二十日、第四十三号、四九—六五頁〕

葉山嘉樹宛小林多喜二島木健作未発表書簡〔関西大学「国文学」三月二十日、第四十三号、六六—七二頁〕

葉山嘉樹年譜（未定稿）（四）〔友樹〕十一月二十日、第四十二号） *（三）は未発表。

一九六九年（昭和四十四年）

葉山嘉樹年譜（未定稿）（五）〔友樹〕二月二十五日、第四十三号、五七—七六頁）

葉山嘉樹参考文献補遺（二）〔友樹〕二月二十五日、第四十三号、七六—七六頁）

葉山嘉樹年譜（未定稿）（六）〔友樹〕九月二十五日、第四十四

号、六六一七五頁)

葉山文学の評価をめぐって(「ROKU」十一月十五日、創刊号、五―七頁)

一九七〇年(昭和四十五年)

年譜(葉山嘉樹)(「日本の文学第三十九卷(葉山嘉樹・小林多喜二・徳永直)」三月五日、中央公論社、五二七―五三三頁)

*「アイポリールバックス日本の文学39」(中央公論社)に再録。

「淫売婦」と「海に生くる人々」(関西大学「国文学」八月一日、第四十四号、三三―四二頁)

一九七一年(昭和四十六年)

越中谷利一年譜(越中谷利一著作集)六月五日、東海繊維経済新聞社、七七五―七八七頁)

谷沢永一著「明治期の文藝評論」(新刊紹介)(「関大」八月十五日、第百九十一号、三一―三面) *関西大学校友会発行。

一九七二年(昭和四十七年)

葉山嘉樹未発表書簡(「文学的立場」一月十日、第六号、一五八―一七五頁)

「煤煙」論の前提(関西大学「国文学」三月一日、第四十六号、一九―三三頁)

森田草平著作目録(関西大学「国文学」三月一日、第四十六号、三四―四八頁)

「海に生くる人々」の改題・改稿・発表経過等について(関西大学「国文学」九月一日、第四十七号、三六一―三五頁)

一九七三年(昭和四十八年)

年譜(魚住折蘆・安倍能成・阿部次郎・和辻哲郎・生田長江・倉田百三・長谷川如是閑・辻潤)(「現代日本文学大系第四十卷」二月二十日、筑摩書房、四八五―五〇〇頁)

*谷沢永一と共編。

著作目録(魚住折蘆・安倍能成・阿部次郎・和辻哲郎・生田長江・倉田百三・長谷川如是閑・辻潤)(「現代日本文学大系第四十卷」二月二十日、筑摩書房、五〇一―五〇七頁)

*谷沢永一と共編。

年譜(柳宗悦・谷川徹三・三木清・林達夫・池田潔・竹山道雄・田中耕太郎・渡辺一夫・石母田正・猪木正道・小泉信三・深瀬基寛・丸山真男・岡本太郎・小倉金之助・手塚富雄・会田雄次・朝永振一郎・杉捷夫・美濃部亮吉・宮本常一・鶴見俊輔・湯川秀樹・貝塚茂樹・水尾比呂志・福原麟太郎・池田弥三郎・石田英一郎・吉田秀和・森有正・川添登・吉川幸次郎・橋川文三・色川大吉)(「現代日本文学大系第97卷」五月七日、

筑摩書房、三八三―四〇〇頁)

*谷沢永一と共編。

葉山嘉樹宛書簡―前田河広一郎・島田晋作・青野季吉・里村欣

三―〔葉山嘉樹〕六月十五日、桜楓社、一六九―一九八頁)

徳永直著作目録〔関西大学「国文学」七月一日、第四十八号、

四二―六六頁)

伊藤整著作目録〔長谷川泉編「伊藤整研究」(叢書近代文藝研

究)八月一日、三弥井書店、三四八―三六七頁)

*谷沢永一と共編。

徳永直「太陽のない街」発表年月・共同印刷争議・設定年月・

絶版について〔関西大学「国文学」十二月一日、第四十九号、

二四―四三頁)

一九七四年(昭和四十九年)

葉山嘉樹(「ちくま」二月二十日、第五十九号、一六一―二〇頁)

岩藤雪夫著作目録〔関西大学「文学論集」三月二十日、第二十

三卷第四号、五三―六六頁)

岩藤雪夫の「鉄」と「質銀奴隷宣言」〔関西大学「国文学」六月

五日、第五十号、五九―七四頁)

小田切秀雄著作目録(小田切秀雄著「日本近世文学の展望」(小

田切秀雄著作集第五卷)十二月二十五日、法政大学出版社、

二八七―三二八頁)

*谷沢永一と共編。

一九七五年(昭和五十年)

解題―葉山嘉樹と「労働組合」―〔伊那文学〕二月二十日、二

二―二四頁)

葉山嘉樹(昭和の文学)〔群像〕三月一日、第三十卷第三号、

二六八―二九二頁)

*中野重治・寺田透との鼎談。

本全集の編集・校訂について〔葉山嘉樹全集全六卷〕内容見

本、三月、筑摩書房、九―九頁) *「ちくま」(三月三十日、

第七十二号、広告頁)に再録。

葉山嘉樹の作品を追って十年〔潮〕三月一日、第百八十九号、

一五三―一五四頁)

*談

伊藤永之介著作目録〔関西大学「文学論集」三月二十日、第二

十四卷三・四号、二七―五六頁)

解題〔葉山嘉樹全集第一卷〕四月二十五日、筑摩書房、四七二

―一五〇一頁)

「労働文学」のこと〔日本近代文学館〕五月十五日、第二十五

号、七―七頁)

解題〔葉山嘉樹全集第三卷〕六月二十五日、筑摩書房、四四三—四六六頁〕

葉山嘉樹〔国文学解釈と鑑賞〕七月一日、第四十卷第八号「昭和作家研究法」五八一—五九頁〕

解題〔葉山嘉樹全集第二卷〕八月二十九日、筑摩書房、四七八—五〇二頁〕

解題〔葉山嘉樹全集第四卷〕十月三十一日、筑摩書房、四三〇—四四七頁〕

田口運蔵の葉山嘉樹宛書簡〔関西大学「文学論集」十一月四日、創立九十周年記念特集号、一—四二頁〕

一九七六年（昭和五十一年）

解題〔葉山嘉樹全集第五卷〕二月十日、筑摩書房、四六六—四九八頁〕

アジ・プロ文学・学藝自由同盟・原爆文学・サークル詩・サン
チヨ・クラブ・新日本文学会・生産文学・転換作家・日本民
主主義文学同盟・農民文学・反映論・ハリコフ会議・労働者
文学・労働文学〔長谷川泉・高橋新太郎編「国文学解釈と鑑
賞」三月五日、第四十一卷第四号「文藝用語の基礎知識」〕

葉山嘉樹年譜〔葉山嘉樹全集第六卷〕六月三十日、筑摩書房、
五一三—五五四頁〕

解題〔葉山嘉樹全集第六卷〕六月三十日、筑摩書房、五六七—
五八一頁〕

索引〔葉山嘉樹全集第六卷〕六月三十日、筑摩書房、五八三—
五九六頁〕

編纂を終つて〔葉山嘉樹全集第六卷付録月報第六号〕六月三十
日、筑摩書房、五一—六頁〕

参考文献目録抄〔葉山嘉樹全集第六卷付録月報第六号〕六月三
十日、筑摩書房、一〇—一〇頁〕

宮本百合子全集逸文について〔関西大学「国文学」十二月二十
五日、第五十三号、四〇—五七頁〕

一九七七年（昭和五十二年）

第三十七回疏黄島・菊村到〔国文学解釈と鑑賞〕一月五日、第
四十二卷第二号、長谷川泉編「芥川賞事典」三二〇—三二一
頁〕

第三十八回裸の王様・開高健〔国文学解釈と鑑賞〕一月五日、
第四十二卷第二号、三二二—三二三頁〕

葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」〔高校通信〕一月十五日、
第十一卷第二号、四—七頁〕

葉山嘉樹〔三好行雄編「日本近代文学研究必携」一月三十一日、
学燈社、一八九—一九一頁〕

橋本英吉著作目録〔関西大学〕「文学論集」三月二十日、第二十

六卷第三号、二五―五二頁）

総会屋錦城・城山三郎〔国文学解釈と鑑賞〕六月五日、第四十

二卷第八号、長谷川泉編「直木賞事典」三〇六―三〇七頁）

浮雲〔明治・大正・昭和の名著総解説〕六月十日、自由国民

社、五三―五三頁）

吾輩は猫である〔明治・大正・昭和の名著総解説〕六月十日、

自由国民社、六四―六六頁）

*〔明治の名著〕一 文藝の胎動と萌芽 二〇〇九年十月二

十日、自由国民社、一六六―一七二頁）に再録。

文学序説〔明治・大正・昭和の名著総解説〕六月十日、自由国

民社、一六五―一六六頁） *無署名。

海に生くる人々〔明治・大正・昭和の名著総解説〕六月十日、

自由国民社、一六七―一六七頁） *無署名。

黎明〔明治・大正・昭和の名著総解説〕六月十日、自由国民

社、一六七―一六七頁）

*無署名。

火山灰地〔明治・大正・昭和の名著総解説〕六月十日、自由国

民社、二二九―二二九頁） *無署名。

大日本女性史〔明治・大正・昭和の名著総解説〕六月十日、自

由国民社、二三〇―二三〇頁） *無署名。

『海に生くる人々』の評価〔三好行雄・竹盛天雄編〕近代文学5

現代文学の胎動 六月二十日、有斐閣、一〇二―一一二頁）

梅崎春生「桜島」〔国文学解釈と鑑賞〕九月一日、第四十二卷

十一号、四二―四四頁）

山本勝治と「十姉妹」〔関西大学〕「国文学」九月二十五日、第五

十四号、七七―九三頁）

大田洋子著作目録〔関西大学〕「文学論集」九月三十日、第二十

七卷第一号、七一―八六頁）

安藤徳器・栗原幸夫〔日本近代文学大事典第一卷〕十一月十八

日、講談社）

*〔机上版〕日本近代文学大事典（一九八四年十月二十四

日、講談社）に再録。

佐近益栄・武野藤介・徳永直〔日本近代文学大事典第二卷〕十

一月十八日、講談社） *〔机上版〕日本近代文学大事典に

再録。

秦豊吉・富士正晴・松本淳三・武藤直治〔日本近代文学大事典

第三卷〕十一月十八日、講談社） *〔机上版〕日本近代文学

大事典に再録。

新技巧派・文学者の従軍〔日本近代文学大事典第四卷〕十一月

十八日、講談社)

・苦楽・文化組織・反響・伝記・主潮・龍舫・三人(『日本近代文学大事典第五卷』十一月十八日、講談社)

風にそよぐ葦・石川達三(『国文学解釈と鑑賞』十二月五日、第四十二卷第十二号、長谷川泉・武田勝彦編)「現代新聞小説事典」一八〇―一八〇頁)

片隅の迷路・開高健(『国文学解釈と鑑賞』十二月五日、第四十二卷第十二号、長谷川泉・武田勝彦編)「現代新聞小説事典」一八一―一八一頁)

青春の蹉跌・石川達三(『国文学解釈と鑑賞』十二月五日、第四十二卷第十二号、長谷川泉・武田勝彦編)「現代新聞小説事典」二二四―二二四頁)

翔ぶが如く・司馬遼太郎(『国文学解釈と鑑賞』十二月五日、第四十二卷第十二号、長谷川泉・武田勝彦編)「現代新聞小説事典」二五五―二五五頁)

一九七八年(昭和五十三年)

『葉山嘉樹』に関するアンケート(『友樹』三月一日、第五十四号、六七―六七頁)

はやまよしき葉山嘉樹(『国民百科事典十二』五月二十七日、平凡社、二〇二―二〇二頁)

*『日本文学事典』(平凡社教育産業センター編集・制作、三一七―三一八頁)に再録。

伊藤永之介の「泉」について(『民主文学』九月一日、第四百五十四号、一〇八―一〇八頁)

多喜二・伝治・直と「文学新聞」(『筑摩現代文学大系第三十八卷月報87』十二月二十日、筑摩書房、六一―七頁)

一九七九年(昭和五十四年)
年譜(葉山嘉樹)(『筑摩現代文学大系第三十六卷』二月二十五日、筑摩書房、四六八―四七七頁)

マルクス主義藝術研究会のこと(『中野重治全集第十一卷月報二』三月、筑摩書房、五―七頁)

「文学新聞」(日本プロレタリア作家同盟発行)について(『ブックエンド通信』四月二十八日、第二号、一三―一五〇頁)

浅田隆著「葉山嘉樹論―海に生くる人々」をめぐって(『立命館大学「論究日本文学」五月三十日、第四十二号、四八―五二頁)

参考文献(『露伴全集附録』八月十七日、岩波書店、二七―一三二頁)

一九八〇年(昭和五十五年)

葉山嘉樹(浅井清他編)「研究資料現代日本文学第一卷(小説・

戯曲一」三月五日、明治書院、三四〇―三四三頁)

葉山嘉樹「淫売婦」の女(「国文学解釈と教材の研究」三月二十五日、第二十五卷第四号「名作の中のおんな一〇一人」九六一―九七頁)

藤森成吉「何が彼女をそうさせたか」のすみ子(「国文学解釈と教材の研究」三月二十五日、第二十五卷第四号「名作の中のおんな一〇一人」九八一―九九頁)

小林多喜二「党生活者」のヨシ(「国文学解釈と教材の研究」三月二十五日、第二十五卷第四号「名作の中のおんな一〇一人」一〇〇―一〇二頁)

幸田露伴著作年表(「露伴全集別巻下拾遺」三月二十八日、岩波書店、四八七―五八二頁)

百合子と「日米時報」のことなど(「宮本百合子全集第十二巻月報十四」四月二十日、新日本出版社、三一―六頁)

プロレタリア演劇運動の資料について(「ブックエンド通信」四月二十五日、第五号、三三―五三頁)

*のち「プロ演劇におけるリーフレットをめぐって―」左翼劇場パンフレット」「タワーリシチ」「同志」「演劇新聞」―と改題。

広野八郎著「葉山嘉樹・私史」―解説にかえて―(広野八郎著

「葉山嘉樹・私史」六月十日、たいまつ社、二五九―三〇〇頁)

葉山嘉樹と室蘭(北海道文学全集第六巻月報六)六月十日、立風書房、六一―八頁)

島木健作(朝倉菊雄) 訊問調書抄(季刊文学的立場)十月二十五日、第二号、一八〇―一九三頁)

理想に向かつて(各界で活躍する先輩)(「進学」十一月二十七日、一―一―二頁)

里村欣三の「第二の人生」(「日本文学」十二月十日、第二十九巻第十二号、八三―八八頁)

一九八一年(昭和五十六年)
著者紹介(「山崎正和著作集全十二巻内容見本」十月、中央公論社、一一―二頁)

*無署名。

書誌(「山崎正和著作集五」十月二十日、中央公論社、四一―四一九頁)

*無署名。

「二銭銅貨」―貧しさゆえの悲哀―(「読書案内(中学・高校編)」十一月十六日、大修館書店、三〇―三四頁)

書誌(「山崎正和著作集七」十一月二十日、中央公論社、四〇―五

—四〇七頁)

*無署名。

書誌〔山崎正和著作集八〕十二月二十日、中央公論社、三八六

—三八九頁)

*無署名。

一九八二年(昭和五十七年)

書誌〔開高健著「ああ好食大論争」(開高健全對話集成一・食篇)〕

一月十日、潮出版社、二二〇—二二二頁)

*潮文庫「ああ好食大論争」(一九八五年一月二十八日、潮

出版社)に再録。

書誌〔山崎正和著作集四〕一月二十日、中央公論社、三八六—

三八九頁)

*無署名。

落穂拾い〔ブックエンド通信〕二月十五日、第七号、四九—五

四頁)

書誌〔山崎正和著作集九〕二月二十日、中央公論社、四一〇—

四一四頁)

*無署名

書誌〔山崎正和著作集二〕三月二十日、中央公論社、四四四—

四四四頁)

*無署名

荒畑寒村の葉山嘉樹宛書簡〔季刊文学的立場〕四月五日、第六

号、一八六—一九四頁)

書誌〔開高健著「男と土曜日と水平線」(開高健全對話集成二・

青春・旅篇)〕四月十日、潮出版社、二四一—二四二頁)

書誌〔山崎正和著作集三〕四月二十日、中央公論社、三九〇—

三九二頁)

*無署名。

参考文献目録(小笠原克・吉田永宏編)野間宏・開高健(鑑賞

日本現代文学24)四月三十日、角川書店、四六八—四八〇

頁)

書誌〔山崎正和著作集十一〕五月二十日、中央公論社、三七四

—三七九頁)

*無署名。

苦楽(日本近代文学館編)復刻日本の雑誌解説〕六月一日、講

談社、一九九—二〇一頁)

伊藤永之介の「泉」と同人誌「小説」細目(日本文学)六月十

日、第三十一卷第六号、三四—四二頁)

書誌〔開高健著「釣り人語らず」(開高健全對話集成三・食篇)〕

六月十日、潮出版社、二二二—二二四頁)

*潮文庫「釣り人語らず」(潮出版社、一九八五年十月十日)に再録。

書誌(「山崎正和著作集十」)六月二十日、中央公論社、四三三―

四三七頁)

*無署名。

書誌(「山崎正和著作集六」)七月二十日、中央公論社、四〇八―

四一二頁)

*無署名。

プロレタリア文化年表(※研究室から)〔赤旗〕七月二十四日、

一一―一一面)

解題(「大田洋子集第一卷」)七月三十一日、三一書房、三四七―

三五五頁)

書誌(開高健著「きのうの戦争、きょうの戦争」(開高健全対話

集成五・食篇)八月十日、潮出版社、二五―二五二頁)

書誌(「山崎正和著作集二」)八月二十日、中央公論社、五〇三―

五三〇頁) *無署名。

書誌づくりのむずかしさ「徳永直」(人物書誌大系1)を上梓し

て―(「図書新聞」)八月二十八日、第三百十六号、七―七面)

解題(「大田洋子集第二卷」)八月三十一日、三一書房、三五六―

三五七頁)

全刊行物一覽(「COLLECTION開高健」)九月十五日、潮出版社、五一九―五三二頁)

荒畑寒村の葉山嘉樹宛書簡(下)(「季刊文学的立場」)九月二十

日、第七号、一九二―一九八頁)

解題(「大田洋子集第三卷」)九月三十日、三一書房、四一六―四

一八頁)

書誌(開高健著「有罪」は作家の勲章だ! (開高健全対話集成

四・食篇)十月十日、潮出版社、二二―二二三頁)

書誌(「山崎正和著作集十二」)十月三十日、中央公論社、三六六

―三六六頁)

*無署名。

書誌訂補(「山崎正和著作集十二」)十月三十日、中央公論社、三

六六―三六六頁)

*無署名。

山崎正和年譜(「山崎正和著作集十二」)十月三十日、中央公論

社、三六九―四四五頁)

*谷沢永一・浦西和彦編。

解説(「大田洋子集第四卷」)十月三十一日、三一書房、三四―

三五二頁)

*のち「大田洋子の初期作品について―「流離の岸」を中

心―と改題。

解題〔大田洋子集第四卷〕十月三十一日、三一書房、三五二―三五四頁)

大田洋子年譜〔大田洋子集第四卷〕十月三十一日、三一書房、

三三五―三八〇頁)

拙編「徳永直（人物書誌大系一）」補遺〔方位〕十一月十日、

第五号、二七一―三〇頁)

開高健略年譜〔国文学解釈と教材の研究〕十一月二十日、第二

十七卷第十五号「開高健時代精神のメタファー」一四二―

四五頁)

書誌〔開高健著「六千万人の囚人たち（開高健全対話集八・食

篇）〕十二月十日、潮出版社、二九〇―二九一頁)

一九八三年（昭和五十八年）

「プロレタリア演劇」と「プロット」〔ブックエンド通信〕一月

十七日、第八号、一四―二三頁)

葉山嘉樹・小林多喜二・徳永直・島木健作・宮本百合子・佐多

稲子〔国文学解釈と教材の研究〕一月二十五日、第二十八卷

第二号「現代の名句名言777」)

書誌〔開高健著「右のポケットが空っぽになったような寂しさ

（開高健全対話集成六・食篇一）〕二月十日、潮出版社、二一

四―二二五頁)

参考文献目録（第一部日本近代文藝評論通史、第二部現代評論）

（谷沢永一編「鑑賞日本現代文学第三十四卷（現代評論）」三

月三十一日、角川書店、三八五―四二四頁)

年譜〔今西錦司・大塚久雄・中野重治・桑原武夫・伊藤整・中

村光夫・江藤淳・林達夫・丸山真男・中野好夫・高橋和己・

山崎正和・イザヤ・ペンダサン・山本七平・花田清輝・渡部

昇一〕（鑑賞日本現代文学第三十四卷（現代評論）」三月三十

一日、角川書店、四二五―四四四頁)

葉山嘉樹―「悲惨なる過去」の拘束―〔国文学解釈と鑑賞〕四

月五日、第四十八卷第七号「病跡からみた作家の軌跡」二二五

六―二六一頁)

書誌〔開高健著「群衆の中の孤独（開高健全対話集成七・文学

篇二）〕四月十日、潮出版社、二二九―三三二頁)

葉山嘉樹〔国文学解釈と教材の研究〕四月二十五日、第二十八

卷第六号「近代作家年譜集成」一五九―一六一頁)

「徳永直」〔人物書誌大系一〕のこと〔書誌索引展望〕五月一

日、第七卷第二号、二六一―二七頁)

宮嶋資夫と葉山嘉樹〔宮嶋資夫著作集第二卷月報二〕五月二十

五日、慶友社、二一―三頁)

開高健（近代作家研究事典刊行会編）『近代作家研究事典』六月

三十日、桜楓社、九三—九五頁）

葉山嘉樹（近代作家研究事典刊行会編）『近代作家研究事典』六

月三十日、桜楓社、三三〇—三三一頁）

小林多喜二（三好行雄編）『別冊国文学・特大号 日本現代文学

研究必携』七月十日、学燈社、一五九—一六二頁）

徳永直（大久保典夫・高橋春雄編）『現代文学研究事典』七月二

十五日、東京堂出版、一五五—一五六頁）

葉山嘉樹（大久保典夫・高橋春雄編）『現代文学研究事典』七月

二十五日、東京堂出版、一九九—二〇一頁）

小説の映画化年表（『国文学解釈と教材の研究』八月二十日、第

二十八卷第十号）『映画の文学誌』九八—一〇四頁）

作家の書簡（『華』十二月二十二日、第六十六号、八二—八二

頁）

* 関西大学教育後援会発行

一九八四年（昭和五十九年）

解説（『小林多喜二研究（近代作家研究叢書35）』九月二十五日、

日本図書センター—一頁）

太陽のない街（徳永直）（『国文学解釈と鑑賞』十一月五日、第

四十九第十四号、長谷川泉編）『現代作品の造型とモデル』一

九〇—一九一頁）

妻の座（壺井栄）（『国文学解釈と鑑賞』十一月五日、第四十九

第十四号、長谷川泉編）『現代作品の造型とモデル』二六五—

二六六頁）

一九八五年（昭和六十年）

解題（『反響』解題・総目次・索引）一月三十一日、不二出版、

五—一二頁）

雑誌新聞総目次索引解題集覧（谷沢永一・吉田鯉生編）『現代文

学入門（鑑賞）日本現代文学別巻現代文学入門』五月十日、角

川書店、四〇七—五三八頁）

* 青山毅と共編

解題（『葉山嘉樹全集』未収録作品）（建碑期成会）『建碑記念

寄稿集』七月二十一日、三〇—三三七頁）

渦巻ける鳥の群・くれない・時に佇つ・夏の葉・赤蛙・太陽の

ない街・セメント樽の中の手紙・海に生くる人々・三等船客

（『国文学解釈と教材の研究』九月二十五日、第三十卷十一号、

『日本の小説555』）

山本実彦・六の宮の姫君（菊池弘・久保田芳太郎・関口安義編

『芥川龍之介事典』十二月十五日、明治書院、五一〇—五一

〇、五四〇—五四一頁）

一九八六年（昭和六十一年）

「セメント樽の中の手紙」をめぐって（『国語通信』一月二五日、

第二八二号、一一六）

青山巖著「総てが蒐書に始まる」（『社会文学通信』一月三十日、

第三号、七―七頁）

金時鐘・松本淳三（分銅淳作・田所周・三浦仁編）『日本現代詩

辞典』二月十五日、桜楓社、一五二―一五二、四四九―四四

九頁）

葉山嘉樹の「創作構想メモ」（写真版）について（関西大学「文

学論集」十一月四日、創立百周年記念号、五五―九八頁）

貴司山治・徳永直・葉山嘉樹（『現代文学研究―情報と資料―

（国文学解釈と鑑賞別冊）十一月二十日、至文堂、二三〇―二

三一、三九三―三九四、四五四―四五六頁）

略年譜（『新潮日本アルバム別巻2（大正文学アルバム）』十一

月二十五日、新潮社、一二四―一四一頁）

一九八七年（昭和六十二年）

一九八六年読書アンケート（『関西大学通信』一月十四日、四―

四頁）

わたしの古本屋めぐり（『徬書月刊』三月二十五日、第三卷第四

号、一二―一三頁）

近代文学事典について（『関西大学通信』四月三日、第百六十三

号、四―四頁）

葉山嘉樹海に生くる人々（『国文学解釈と教材の研究』七月二十

五日、第三十二卷第九号、「作品別・近代文学研究事典」一二

二―二三頁）

里村欣三のはがき（書架より）（『徬書月刊』十月二十五日、第

三卷第十一号、二七―二七頁）

『プロレタリア文学書目』について（『書誌索引展望』十一月一

日、第十卷第四号、四七―四九頁）

前田河広二郎著「火田」について（書架より）（『徬書月刊』十

一月二十五日、第三卷十二号、二七―二七頁）

一九八八年（昭和六十三年）

谷沢永一（増補改訂新潮日本文学辞典）一月二十日、新潮社、

八二―八三頁）

芥川龍之介全集逸文（関西大学「国文学」一月三十日、第六十

四号、九一―一〇二頁）

同人雑誌の時代（講座昭和文学史第一巻都市と記号）二月二十

日、有精堂出版、五〇―六〇頁）

「海に生くる人々」と「蟹工船」（日本文学協会編『日本文学講

座6近代文学』六月十日、大修館書店、二二九―二四六頁）

プロレタリア文学年表（『日本プロレタリア文学集・別巻』十二月二十日、新日本出版社 三五九—五七〇頁）

一九八九年（昭和六十四・平成元年）

関東大震災と文学（『国文学解釈と教材の研究』三月二十五日、第三十四卷第四号「近代文壇事件史」九四—一〇〇頁）

文学史研究から文学運動研究へ（『図書新聞』九月二十三日、第六百五十八号、六一—六面） *谷沢永一・青山毅との鼎談。

「わが文学半生記」解説（『江口喚「わが文学半生記」〈近代作家研究叢書64〉十月二十五日、日本図書センター、一一九頁）

書誌偶感—文学研究のための書誌づくりに携わって—（『図書館雑誌』十二月二十日、第八十三卷第十二号、七八〇—七八一頁）

一九九〇年（平成二年）

「百合子追想」解説（『百合子追想〈近代作家研究叢書87〉一月二十五日、日本図書センター、一一八頁）

開高健年譜（『文学界』二月一日、第四十四卷第二号、三三六—三四三頁）

*谷沢永一との共編。『ザ・開高健』（七月二十七日、読売新聞社、一七〇—一七三頁）再録。

高崎隆治著『従軍作家 里村欣三の謎』—知られざる文戦派作

家の生涯—（『文化評論』二月一日、第三百四十八号、二九四—二九六頁）

「宮本百合子研究」解説（『宮本百合子研究〈近代作家研究叢書98〉三月二十五日、日本図書センター、一一八頁）

思想形成をたどる資料—『藤森成吉文庫目録』によせて—（『神奈川近代文学館』七月十五日、第二十九号、六一—六頁）

「転換期の文学」解説（『転換期の文学〈近代作家研究叢書87〉十月二十五日、日本図書センター、一一八頁）

編集付記（開高健「オールウェイズ下」十月三十一日、角川書店、四四九—四五二頁）

解説—日本プロレタリア文化連盟結成に至る経過を年譜風に—（青山毅編『昭和期文学・思想文献資料集成第8輯〈プロレタリア文化連盟〉十一月二十八日、五月書房、三八—三九二頁）

書誌—作るよろこび読むたのしみ—（『浪速書林古書目録』十二月十五日、第十六号、六一—二二頁） *谷沢永一・山野博史との鼎談。

一九九一年（平成三年）

奈良市「呟野」（堀辰雄）（『国文学解釈と鑑賞別冊・長谷川泉編「近代名作のふるさと〈西日本篇〉四月十日、至文堂、七二—

七三頁)

もつと書誌を！(「日本近代文学会会」九月一日、第七十五号、

一五一—一六頁)

『藤村全集』逸文紹介(「島崎藤村研究」九月二十日、第十九号、

五八一—六九頁)

開高健のことなど(「波」十一月一日、第二十五卷十一号、六四

—一六五頁)

書誌(「開高健全集第一卷」十一月十日、新潮社、五一九—五二

四頁) *無署名。

平野栄久著「開高健—闇をはせる光芒—」(「神戸新聞」十一月

十七日、一二—二二面)

山彦のお菓子をたべながら(81)(「やまびこ」十一月、第三百

五十九号、一〇—一〇頁) *談 聞き手は谷口啓一。

日本プロレタリア美術家同盟活動日誌—昭和七年三月十六日—

五月二十二日—(関西大学「国文学」十二月二十日、第六十

八号、七九—九三頁)

中村幸彦先生略年譜(関西大学「国文学」十二月二十日、第六

十八号、一二—一三六頁) *無署名。

中村幸彦先生著書目録(関西大学「国文学」十二月二十日、第

六十八号、一二六—一三六頁) *無署名。

岡見正雄先生略年譜(関西大学「国文学」十二月二十日、第六

十八号、一三七—一三七頁) *無署名。

岡見正雄先生著作目録(関西大学「国文学」十二月二十日、第

六十八号、一三八—一四一頁) *無署名。

清水好子先生略年譜(関西大学「国文学」十二月二十日、第六

十八号、一四二—一四六頁) *無署名。

清水好子先生著作目録(関西大学「国文学」十二月二十日、第

六十八号、一四七—一六五頁) *無署名。

谷沢永一先生略年譜(関西大学「国文学」十二月二十日、第六

十八号、一六六—一七一頁) *無署名。

谷沢永一先生著書目録(関西大学「国文学」十二月二十日、第

六十八号、一七二—二二五頁) *無署名。

一九九二年(平成四年)

書誌(「開高健全集第二卷」一月十日、新潮社、四八七—四九六

頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第三卷」二月十日、新潮社、五二—五二一—

五二六頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第四卷」三月十日、新潮社、五一—五一—

五一五頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第五卷」四月十日、新潮社、四九九—五〇六

頁) *無署名。

図書館へのいざない—小説の中の図書館—(関西大学図書館「ら
いぶらleaf」四月、一一一頁)

『開高健書誌』について(「書誌索引展望」五月一日、第十六卷
第二号、二〇—二三頁)

書誌(「開高健全集第6卷」五月十日、新潮社、五二—五二八
頁) *無署名。

葉山嘉樹(有精堂編集部編「日本文学研究の現状Ⅱ近代(別冊
日本の文学)」六月九日、有精堂出版、二〇八—二二一頁)

書誌(「開高健全集第七卷」六月五日、新潮社、五二—五三三
頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第八卷」七月五日、新潮社、五二—五四二
頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第九卷」八月五日、新潮社、五二—五三三
頁) *無署名。

国文学研究部(「クラブ活動いま・昔」(「関大」八月十五日、第
四百二十二号、三—三頁)

書誌(「開高健全集第十卷」九月五日、新潮社、五三—五六四
頁) *無署名。

図書館情調(「籍苑」九月三十日、第三十五号、一一—一頁)

*関西大学図書館報。

書誌(「開高健全集第十一卷」十月五日、新潮社、五〇—五三
九頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第十二卷」十一月五日、新潮社、五一—五
三三頁) *無署名。

『織田作之助文藝事典』を作り終えて(「徬書月刊」十一月二十
五日、第八卷第十二号 四—五頁)

書誌(「開高健全集第十三卷」十二月五日、新潮社、五一—五
四一頁) *無署名。

一九九三年(平成五年)
書誌(「開高健全集第十四卷」一月五日、新潮社、五三—五四
〇頁) *無署名。

奈良「南京新唱」「鹿鳴集」(会津八一)(「国文学解釈と鑑賞別
冊」長谷川泉編「近代詩歌のふるさと西日本篇」八二—八二
頁)

書誌(「開高健全集第十五卷」二月五日、新潮社、五二—五四
六頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第十六卷」三月五日、新潮社、五二—五八
二頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第十七卷」四月五日、新潮社、五一—五二
二頁) *無署名。

書誌(「開高健全集第十七卷」四月五日、新潮社、五一—五二

八頁) *無署名。

書誌〔開高健全集第十八卷〕五月五日、新潮社、五二八―五四七頁) *無署名。

書誌〔開高健全集第十九卷〕六月五日、新潮社、五三七―五六〇頁) *無署名。

谷沢永一・山野博史編『泣菫隨筆』(関西大学通信)六月十五日、第二百十九号、六一―六六頁)

書誌〔開高健全集第二十卷〕七月五日、新潮社、五三四―五五五頁) *無署名。

開高健作品の上演〔開高健全集第二十卷月報〕七月五日、新潮社、一一―三頁)

広野八郎氏のこと―解説に代えて―(広野八郎著『地むしの唄』七月五日、青磁社、二七六―二八〇頁)

関西大学図書館大阪文藝資料(『日本近代文学館』七月十五日、第二百二十四号、五一―五五頁)

書誌〔開高健全集第二十一卷〕八月五日、新潮社、五五二―五五五頁) *無署名。

書誌〔開高健全集第二十二卷〕九月五日、新潮社、四九四―五二七頁) *無署名。

全集未収録小説〔開高健全集第二十二卷〕九月五日、新潮社、

五二八―五二八頁) *無署名。

全集未収録エッセイ〔開高健全集第二十二卷〕九月五日、新潮社、五二九―五五六頁) *無署名。

開高健年譜〔開高健全集第二十二卷〕九月五日、新潮社、五五七―五八〇頁) *無署名。

谷沢永一・山野博史編『山片蟠桃賞の軌跡』(関西大学通信)十一月二十九日、第二百二十二号、八一―八八頁)

『日本文学報国会法人許可一件書類』翻刻(関西大学『国文学』十二月二十日、第七十号、四七―九六頁)

一九九四年(平成六年)
書誌・校異〔本庄睦男全集第二卷〕一月二十五日、影書房、六〇三―六四三頁)

黒島伝治・葉山嘉樹・陀田勘助・「種蒔く人」・「文藝戦線」・「苦楽」・淫売婦・渦巻ける鳥の群・海に生くる人々・セメント樽

の中の手紙・武装せる市街・陀田勘助詩集(『三好行雄・竹盛天雄・吉田照生・浅井清編』『日本現代文学大事典人名・事項篇』六月二十日、明治書院)

幸田文著作目録(関西大学『国文学』六月三十日、第七十一号、九二―一五四頁)

こあいさつ(『おおさか文藝書画展―近世から近代へ―』九月二

十二日、関西大学、二―二頁)

大阪文壇の成立 (『おさか文藝書画展―近世から近代へ―』九月二十二日、関西大学、八〇―八〇頁)

織田作之助と昭和十年代作家 (『おさか文藝書画展―近世から近代へ―』九月二十二日、関西大学、一〇六―一〇六頁)

河野多恵子と田辺聖子 (『おさか文藝書画展―近世から近代へ―』九月二十二日、関西大学、一一五―一一五頁)

青山毅氏と『本庄陸男全集』 (『民主文学』十一月一日、第三頁九十八頁、八四―八五頁)

『関西大学図書館影印叢書』第二期刊行にあたって (『関西大学図書館影印叢書』内容見本、十一月、一一頁)

関大と大阪文藝資料 (『関大』十一月一日、第四百三十七号、六一―六頁)

関西大学図書館影印叢書刊行について (『関西大学通信』十一月二十八日、第二百三十一号、七―七頁)

一九九五年 (平成七年)

『本の虫』の快楽 (『バンガード』一月一日、第十六卷第一号、七二―七八頁)

* 谷沢永一との対談。のち谷沢永一『人たらし』(一九九八年六月三十日、バンガード社)収録。

未刊行著作一覽 (『佐藤春夫』(未刊行著作集6)五月二十日、

白地舎、二四三―二四四頁)

評伝・年譜・解題 (『佐藤春夫』(未刊行著作集6)五月二十日、

白地舎、二六四―二八八頁)

大田洋子/年譜 (『大田洋子』(作家の自伝38)十一月二十五日、

日本図書センター、二五三―二五七頁)

『大田洋子』編解説 (『大田洋子』(作家の自伝38)十一月二十五

日、日本図書センター、二五九―二六四頁)

日本プロレタリア美術家同盟 (略称P・P) 活動日誌―昭和七

年三月十六日―五月二十二日 (『関西大学』『国文学』十二月

二十日、第七十三号、二六一―二七一頁)

一九九六年 (平成八年)

『図書館フォーラム』発刊にあたって (『関西大学図書館フォー

ラム』三月三十一日、創刊号、一一頁)

葉山嘉樹断片 (『日本近代文学』五月十五日、第五十四集、一五

六一―五七頁)

浅田隆著『葉山嘉樹―文学的抵抗の軌跡―』(『社会文学』七月

三十日、第十号、七八―八〇頁)

『南方徴用作家叢書』刊行に期待 (『第一期南方徴用作家叢書』

ヤワ篇全十五卷) 内容見本、龍溪書舎、八月、刊記なし、四

一四頁) *推薦文。

尾上菟文洞の「古本屋日記」(梶原正弘編『続紙魚放光―尾上菟文洞追悼集』十一月一日、尾上静男、二五―三一頁)

書誌(『本庄睦男全集第四卷』十一月三十日、影書房、七三七―七四六頁)

一九九七年(平成九年)

葉山嘉樹・人と文学(『葉山嘉樹短編小説選集』四月十五日、郷土出版社、五一―五二二頁)

関西大学文学部国文科五十年表(『関西大学「国文学」九月二十日、第七十六号、五六―一五五頁』)

「大日本言論報国会」(『関西大学図書館所蔵』資料について)(『日本近代文学』十月十五日、第五十七集、一七二―一七八頁)

「妻の座」「岸うつ波」のこと(『壺井栄全集三』十二月十五日、文泉堂出版、五六―五六四頁)

一九九八年(平成十年)

松本克平のこと(『安曇野―松本克平追悼文集』二月二十八日、朝日書林、七二―七六頁)

徳永直著「光をかかぐる人々」について(『民主文学』三月一日、第三百八十九号、一〇〇―一〇四頁)

北條秀司作品上演目録(北條秀司著『信濃の一茶・火の女』三

月三十日、関西大学出版部、一八一―二五二頁)

北條秀司著作目録(『信濃の一茶・火の女』三月三十日、関西大学出版部、二五三―二八五頁)

後記(『信濃の一茶・火の女』三月三十日、関西大学出版部、二八七―二八九頁)

徳永直/年譜(『徳永直(作家の自伝68)』四月二五日、日本図書センター、二六四―二七二頁)

『徳永直』編 解説(『徳永直(作家の自伝68)』四月二五日、日本図書センター、二七三―二八一頁)

『種蒔く人』の位置(『彷彿月刊』十月一日、第十四卷第十一号、二―三頁)

「葦分船」解題(『関西大学図書館編』『葦分船』(『関西大学図書館影印叢書第一期第八卷』)十二月二十五日、関西大学出版部、一―一八頁)

「葦分船」目次(『葦分船』(『関西大学図書館影印叢書第一期第八卷』)十二月二十五日、関西大学出版部、一九―四八頁)

一九九九年(平成十一年)

岡本綺堂書簡(『羽衣国文』三月十日、第十二号、九一―一二二頁)

神堀忍博士著作目録(『関西大学「国文学」三月十四日、第七十

八号、二〇—二九頁)

川端康成未発表書簡二十通(関西大学「国文学」三月十四日、第七十八号、三二五—三三九頁)

*【国文学年次別論文集 平成十一年版近代分冊】に収録。
解説(『本庄陸男全集第五卷』一月二十五日、影書房、五二—五四二頁)

書誌(『本庄陸男全集第五卷』一月二十五日、影書房、五四—五五一頁)

日本プロレタリア作家同盟にいま想ふこと(『文学時標』七月二十五日、第百三十七号、四—五頁)

伊藤永之介年譜(『伊藤永之介文学選集』七月二十六日、和泉書院、二九三—三三三頁)

解説にかえて(『伊藤永之介文学選集』七月二十六日、和泉書院、三四四—三五五頁)

天野敬太郎編『雜誌総目次索引集覧増補版』について(『文献継承』七月、第一号、二—三頁) *日付なし。

書誌について(『日本近代書誌学協会会報』十一月二十日、第六号、一四—一八頁)

二〇〇〇年(平成十二年)

葉山嘉樹(『新研究資料現代文学第一巻小説Ⅰ・戯曲』三月三十

一日、明治書院、三二五—三二八頁)

解題—その結成過程をめぐって—(関西大学図書館編『日本文学報国会・大日本言論報国会設立関係書類下巻(関西大学図書館影印叢書第十巻)』三月三十一日、関西大学出版会、一一—二八頁)

江口渙の「児を殺す話」と「ある女の犯罪」(玉井敬之編『漱石から漱石へ』五月八日、翰林書房、三四九—三六二頁)

貴重書を一般公開—『関西大学図書館影印叢書』第一期完結—(『日本古書通信』六月十五日、第六十五巻六号、六一—九頁)

青野季吉・秋田雨雀・久保栄・蔵原惟人・黒島伝治・(『日本歴史大事典Ⅰ』七月十日、小学館)

コップ・太陽のない街(『日本歴史大事典Ⅱ』十月二十日、小学館)

最後の葉書(『小田切秀雄全集別巻』十一月二十日、勉誠堂、一三〇—一三二頁)

小田切秀雄年譜(『小田切秀雄全集別巻』十一月二十日、勉誠堂、三〇—三二〇頁)

小田切秀雄書誌(『小田切秀雄全集別巻』十一月二十日、勉誠堂、三一—四三六頁)

乾裕幸先生を偲ぶ(『関西大学通信』十一月二十四日、第二百八

十五号、三一三頁)

武田麟太郎／年譜〔武田麟太郎〕〈作家の自伝105〕十一月二十

五日、日本図書センター、二五三一―二五八頁)

〔武田麟太郎〕編 解説〔武田麟太郎〈作家の自伝105〕〕十一月

二十五日、日本図書センター、二五九―二六七頁)

貴司山治「日記」一九三四年(昭和九年)(二)(関西大学「国

文学」十一月三十日、第八十一号、一一〇―一二二頁)

「のんしやらん記録」のこと(定本佐藤春夫全集第十八卷月報

三十三)臨川書店、四一―六頁)

二〇〇一年(平成十三年)

ナップ・ナルブ・日本プロレタリア作家同盟・葉山嘉樹・平林

初之輔・プロレタリア文化運動・プロレタリア文学・文藝戦

線・細井和喜蔵(『日本歴史大事典3』三月十日、小学館)

貴司山治「日記」一九三四年(昭和九年)(二)(関西大学「国

文学」三月十七日、第八十二号、七〇―一〇〇頁)

黒島伝治とプロレタリア文学運動(定本黒島伝治全集第二卷小

説Ⅱ)七月二十五日、勉誠出版、四〇七―四一四頁)

二〇〇二年(平成十四年)

片桐洋一教授著述目録(関西大学「国文学」一月三十一日、第

八十三・八十四合併号、一一―二四頁)

片桐洋一教授略年譜(関西大学「国文学」一月三十一日、第八

十三・八十四合併号、二五―二八頁)

前田河広一郎と「日米時報」(関西大学「国文学」一月三十一

日、第八十三・八十四合併号、三五七―三七三頁)

前田河広一郎の英文による短篇小説(関西大学「国文学」一月

三十一日、第八十三・八十四合併号、四〇二―三九五頁)

略年譜〔開高健〕〈新潮日本文学アルバム〕四月二十五日、新

潮社、一〇四―一〇八頁)

主要参考文献〔開高健〕〈新潮日本文学アルバム〕四月二十五

日、新潮社、一〇九―一一〇頁)

主要著作目録〔開高健〕〈新潮日本文学アルバム〕四月二十五

日、新潮社、一一―一二頁)

日本近代文学館の今後に望む(アンケート)(『日本近代文学館』

七月十五日、第百八十八号、三一―三三頁)

貴司山治「日記」一九三六年(昭和十一年)(三)(関西大学「国

文学」十二月十七日、第八十五号、三六一―六九頁)

「コップ」一九三三年(昭和八年)十月十日発行、号外(関西大

学「国文学」十二月十七日、第八十五号、八二―九〇頁)

二〇〇三年(平成十五年)

解説〔武田麟太郎全集第十三卷〕一月二十六日、日本図書セン

ター、一一九頁)

貴司山治「日記」(四)―昭和十年一月・昭和十一年十一月・昭和十三年一月―九月―(関西大学「国文学」二月十七日、第八十六号、一八一―八七頁)

織田作之助と太宰治(「太宰治研究」六月十九日、第十一号、一九七―二〇六頁)

推薦のことは(佐賀郁朗「受難の昭和農民文学」内容見本、九月一日、日本経済評論社) *推薦文。

プロレタリア文学者としての伊藤永之介(「国文学解釈と鑑賞別冊・伊藤永之介生誕百年」九月十五日、三五―四〇頁)

父・中條精一郎のこと(「宮本百合子全集第三十卷月報三十」十月二十五日、新日本出版社、一一二頁)

二〇〇四年(平成十六年)

社会に大きな力となった多喜二の文学(「小林多喜二生誕一〇〇年没後七〇周年記念シンポジウム記録集」二月二十日、白樺文学館、一一〇―一一〇頁)

「新・プロレタリア文学精選集」刊行にあたって(「新・プロレタリア文学精選集」内容見本、五月一日、ゆまに書房、一一頁)

解題Ⅰ(「田辺聖子全集第三卷」五月二十日、集英社、五二八―

五三九頁)

解説(岩藤雪夫著「賃金奴隷宣言」(「新・プロレタリア文学精選集第八卷」六月一日、ゆまに書房、一一五頁)

解題Ⅰ(「田辺聖子全集第八卷」七月十日、集英社、七四七―七五三頁)

石浜恒夫・らぶそでい・いん・ぶろう・黒島伝治・渦巻ける鳥の群・武装せる市街・林房雄・青年・息子の青春・葉山嘉樹・淫売婦・海に生くる人々・セメント樽の中の手紙(浅井清・佐藤勝編「日本現代小説大事典」七月十日、明治書院)

*増補縮刷版(二〇〇九年四月十日、明治書院)に再録。

解題(「田辺聖子全集第六卷」八月十日、集英社、七一―七二頁)

解題(「田辺聖子全集第一卷」九月十日、集英社、五四九―五五三頁)

解題(「田辺聖子全集第二卷」十月十日、集英社、六九〇―六九二頁)

解題(「田辺聖子全集第三卷」十一月十日、集英社、四九八―五〇五頁)

解題(「田辺聖子全集第十四卷」十二月十日、集英社、五九三―五九六頁)

年譜（開高健著「二重壁・なまけもの（講談社文藝文庫）」十二

月十日、講談社、二六八―二七八頁）

著作年譜（開高健著「二重壁・なまけもの（講談社文藝文庫）」

十二月十日、講談社、二七九―二八五頁）

二〇〇五年（平成一七年）

解題（田辺聖子全集第十二卷）一月十日、集英社、七〇三―七

〇六頁）

伊藤永之介（『国文学解釈と鑑賞』二月一日、第七十卷二号、八

二―八七頁）

『大阪近代文学作品事典』のこと（『大法輪』二月一日、第七十

二卷二号、四九―五〇頁）

解題（田辺聖子全集第九卷）二月十日、集英社、五四六―五六

三頁）

解題（田辺聖子全集第十一卷）三月十日、集英社、四八〇―四

八二頁）

開高健（『現代の作家（年譜集成Ⅰ）』三月二十五日、日外アソ

シエーツ、一五三―一七九頁）

徳永直全集のこと（『梨の花通信』三月二十五日、第五十号、一

八一―九頁）

解題Ⅰ（田辺聖子全集第十三卷）四月一〇日、集英社、七二三

―七二八頁）

徳永直著『太陽のない街』のこと（『浪速書林古書目録』五月八

日、第三十九号、一―四頁）

解題（田辺聖子全集第十五卷）五月十日、集英社、六六五―六

六八頁）

『大阪近代文学作品事典』を刊行して（『毎日新聞』六月三日夕刊、

七―七面）

解題（『文学案内解題・総目次・索引』六月十日、不二出版、五

一―五頁）

解題Ⅰ（田辺聖子全集第四卷）六月十日、集英社、五〇三―五

〇五頁）

岩下俊作『熱風』（『帝国』戦争と文学27）六月三十日、ゆまに

書房、一―五頁）

解題（田辺聖子全集第十卷）七月十日、集英社、五八六―五八

八頁）

解題（田辺聖子全集第二十一卷）八月十日、集英社、六一二―

六一五頁）

解題Ⅰ（田辺聖子全集第十七卷）九月十日、集英社、六八二―

六九二頁）

解題Ⅰ（田辺聖子全集第十八卷）十月十日、集英社、七五五―

七五九頁)

『大阪近代文学事典』に思うこと(『日本近代文学』十月十五日、

第七十三集、三二四―三二八頁)

解題(『田辺聖子全集第十六卷』十一月十日、集英社、五六六―

五七二頁)

解題(『田辺聖子全集第二十二卷』十二月十日、集英社、五六〇

―五六四頁)

二〇〇六年(平成十八年)

解題(『田辺聖子全集第二十三卷』一月十日、集英社、五四三―

五四六頁)

解題(『田辺聖子全集第二十卷』四月十日、集英社、五五五―五

五九頁)

解題(『田辺聖子全集二十四卷』五月十日、集英社、六四〇―六

五〇頁)

田辺聖子と大阪近代文学(『国文学解釈と鑑賞別冊(田辺聖子)』

七月十五日、四一―四八頁)

貴司山治と「ゴースト」(『貴司山治展』十二月二十一日、

徳島県文学書道館)

二〇〇七年(平成十九年)

文学・文化運動・エイブル・アート・国民文学論・記録文学・

ポストモダニズム・歴史社会学派・歴史記述・記録文学・英
ぶる・アート(『社会文学事典』一月十五日、冬至書房)

山内謙吾資料(関西大学総合図書館所蔵)について―黒島伝治

未発表はがき二通の紹介―(関西大学「国文学」三月一日、

第九十一号、二六九―二八二頁)

大阪を描いた作品を読む(『葦』五月十一日、第三百三十六号、一

七―一七頁)

『夕刊流星号』の光芒―『夕刊新大阪』について―(『夕刊新大

阪』解説・主要記事索引)五月二十五日、不二出版、五―二

三頁)

河野多恵子「臍の緒は妙薬」―理屈と対極の獨創性―(『文学界』

六月一日、第六十一卷第七号、二六〇―二六一頁)

書誌の世界(『彷彿月刊』九月二十五日、第二十三卷第十号、三

六―三九頁)

一つの文学史的事件(織田作之助著「夫婦善哉 完全版」十月

十九日、雄松堂出版、オビ) *推薦文。

いつ「続夫婦善哉」を執筆したか(『週刊読書人』十月二十六

日、第二千七百十号、六一―六八頁)

二〇〇八年(平成二十年)

文学実地調査印象記(『社会文学通信』二月二十九日、第八十三

号、六一七頁)

赤穂時代の葉山嘉樹書簡二通(関西大学「国文学」三月一日、第九十二号、二二七—二三三頁)

解説(葉山嘉樹著「セメント樽の中の手紙」(角川文庫)九月二

十五日、角川書店、一六七—一七五頁)

年譜(「セメント樽の中の手紙」(角川文庫)九月二十五日、角

川書店、一八四—一九五頁)

精彩を放つ小剣コラム(荒井真理並編・上司小剣著「上司小剣

コラム集」十月三十日、亀鳴屋、四五五—四五九頁)

二〇〇九年(平成二十一年)

アンケート―昨年の収穫と今後の研究テーマ(「日本古書通

信」一月十五日、第七十四卷第一号、一九—一九頁)

年譜開高健(開高健著「戦場の博物誌(講談社文藝文庫)」六月

十日、講談社、二五九—二六五頁)

著書目録開高健(開高健著「戦場の博物誌(講談社文藝文庫)」

六月十日、講談社、二四八—二五八頁)

「南方徴用作家叢書」刊行の期待(「第Ⅱ期南方徴用作家叢書ビ

ルマ篇全十四巻」内容見本、十月三十日、龍溪書舎、五一—五

頁) *推薦文。

二〇一〇年(平成二十二年)

獄中で描かれた代表作―葉山嘉樹「海に生くる人々」(多喜

二・百合子研究会編「講座プロレタリア文学」二月十日、光

陽出版社、四一—五八頁)

大会印象記(講演の部①)むのたけじ「人類と農耕、そして社

会文学(「社会文学通信」二月二十日、第八十九号、二—三

頁)

「石川県近代文学事典」のこと(「大法輪」四月一日、第七十七

巻第四号、五三—五四頁)

関西における近代文学事典の刊行と、今後の展望について(「昭

和文学研究」九月一日、第六十一号、一一—一二三頁)

葉山嘉樹著「淫売婦」書き込み本(日本近代文学館所蔵)につ

いて併せて葉山嘉樹未発表書簡二通紹介(「日本近代文学

館年誌資料探索」十月一日、第六号、一四—二三頁)

二〇一一年(平成二十三年)

日記に見る貴司山治の転向(「貴司山治研究」一月二十日、不

出版、三六一—四六頁)

無上の喜びを感じる(「小林多喜二草稿ノート・直筆原稿」内容

見本、雄松堂、一月、二—二頁) *推薦文。

アンケート―昨年の収穫(「日本古書通信」三月十五日、第七

十六卷第三号、八―八頁)

安田依央著「たぶらかし」集英社〔関大〕三月十五日、第五百六十二号、四二―四三頁)

谷沢永一先生追悼―大きな空洞をもたらす―〔週刊読書人〕三月二十五日、第二千八百八十二号、一〇―一〇面)

左翼文士、映画を観る―葉山嘉樹と小林多喜二の対照性―〔映

画論叢〕七月十日、第二十七号、四―八頁)